

【 診療科:乳癌外科 】

【 レジメン登録番号:SB-23 】

〈 Pertuzumab + Trastuzumab + wPTX 療法 〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)						
			1	.....	8	.....	15	.....	21
パージェタ	初回 840mg 以降 420mg	div	○						
ハーセプチン	初回 8mg/kg 以降 6mg/kg	div	○						
パクリタキセル	80 mg/m <sup>2</sup>	div	○		○			○	

【1コース期間: 21日】

【総コース数:進行再発→制限なし

術前術後療法→3~4コース。

その後パージェタ・ハーセプチンのみ合計12ヶ月間(最大18コース)投与する。】

【適応癌種: 乳癌】

【時期: 術前、術後、手術不能・進行・再発】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

投与プロトコール

<day1>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	パージェタ 初回 840mg 以降 420mg	div(初回60分で) (以降30分可)
	生理食塩水 250mL	
Rp.2	生理食塩水 初回 100mL 以降 50mL	div(初回60分で) (以降30分で)
Rp.3	ハーセプチン 初回 8mg/kg 以降 6mg/kg	div(初回90分で) (以降30分可)
	生理食塩水 250mL	
Rp.4	ポラミン 5mg	div(5分で)
	生理食塩水 50mL	
Rp.5	デキサート 6.6mg <sup>※1</sup>	div(30分で)
	ザンタック 50mg	
	生理食塩水 50mL	
Rp.6	パクリタキセル 80mg/m <sup>2</sup>	div(60分で)
	生理食塩水 250mL	
Rp.7	生理食塩水 50mL	div(全開で)

<day8.15>

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	ポラミン 5mg	div(5分で)
	生理食塩水 50mL	
Rp.2	デキサート 6.6mg <sup>※1</sup>	div(30分で)
	ザンタック 50mg	
	生理食塩水 50mL	
Rp.3	パクリタキセル 80mg/m <sup>2</sup>	div(60分で)
	生理食塩水 250mL	
Rp.4	生理食塩水 50mL	div(全開で)

【参考文献:パージェタ・ハーセプチン・タキソール添付文書. J Clin Oncol33,2015(suppl;abstr607)

Annals of Oncology 29:646-653;2018, N Engl J Med 2017;377:122-31

【備考①:前回投与日から6週以上経過した場合、再ローディング可。】

【備考②:パージェタ・ハーセプチンの減量不可。】

【備考③:術前術後療法の場合の投与方法は、総コース数参照。  
進行再発の場合パクリタキセル中止後、パージェタ・ハーセプチンのみでも継続可。】

【備考④:※1;パクリタキセル2回目以降、デキサート3.3mgでも可。】

【変法情報: